

登壇者

管啓次郎（比較文学）
宮地尚子（精神科医）
新井高子（詩人）
新居幸治（服飾デザイナー）
伊藤岳（中国語）
kawole（歌手）
祖父江慎（デザイナー）
谷口岳（大学院生）
林真（大学院生）

出版記念シンポジウム

『トン族の歌にふれて』

歌と語りの夕べ

7/30 2019
(火)

19:00～20:30 (終演予定)

場所

明治大学駿河台キャンパス
リバティタワー1階

リバティホール

(JRお茶の水駅より徒歩5分)

入場無料、予約不要

2018年11月、管啓次郎+新居幸治を団長とする多彩な顔ぶれのキャラバンが、中国貴州省の少数民族トン族の村を訪ねました。トン族は「歌う民族」として世界的に有名ですが、旅の目的はかれらの最大の年間行事である「歌の祭り」を見ること。

貴州の山岳地帯には、途方もない規模の棚田が広がっています。村の中心には鼓楼と呼ばれる瀟洒な木造の塔が建ち、手織りの衣装を染める独特の染色法も秀逸。訪問した村々では土地

の生活文化、そして歌と酒の歓待も体験しました。

このたび、現地で行ったシンポジウムと旅の記録をまとめた冊子『トン族の歌にふれて——旅とシンポジウム』が完成しました。そこで、記念の催しをします。ありきたりな「報告」ではありません。個性豊かなメンバーですから、歌あり、衣あり、笑いあり、しっかりしたコメントあり……。贅沢な会になること間違いなし！ぜひお越しください。

冊子『トン族の歌にふれて——旅とシンポジウム』

2019年7月30日発行

発行人=管啓次郎(明治大学)+宮地尚子(一橋大学)+新井高子(埼玉大学)

編集=管啓次郎+林真(明治大学大学院総合芸術系)

装丁=谷口岳(明治大学大学院総合芸術系)

発行=明治大学理工学部批評理論研究室

主催 明治大学理工学部批評理論研究室 管啓次郎(044-934-7275)